

河内小だより

平成22年10月28日 No.30



給食試食会

10月13日(水)給食試食会が、PTAのお世話で行われました。22名の参加があり、始めに給食センターの栄養士さんのお話を聞き、その後子どもたちと一緒に給食を試食しました。小学生だったころの給食との違いはどうでしたか。

インフルエンザの流行

報道によりますと、広島市で今年度最初のインフルエンザ患者が確認されたそうです。昨年度の大騒動が嘘のような今年の状況ですが、これから流行の季節を迎えます。かからないためには、日頃の注意が何よりも大切です。手洗いやうがい、十分な睡眠、バランスのとれた食事等、忘れかけている基本的なことを毎日実践したいものです。学校など多くの人が集まる場所では、なかなか流行を防ぐことは難しいものです。かからないように予防に努めると共に、かかったかなと思ったら早めの対応が大切です。健康な体を維持・向上させることに心がけましょう。

フレンドタイムでの高学年の活躍

10月19日(火)のフレンドタイムの様子です。縦割りによる班別活動を取り入れ、縦のつながりによってコミュニケーション力の向上と、下学年をお世話することによって、高学年のリーダー性を高めることをねらいとしています。始めた頃に比べると、計画性や実行力が向上したと思います。活躍できる場を有効に活用してほしいものです。



お知らせ

平賀 由加 学校支援員が10月12日(火)に、竹本 都 ICT支援員が10月19日(火)に着任しました。学校支援員は、子どもたちの指導に関して、先生方の活動をいろいろと支援するのが業務です。河内小学校では、主に1年生から4年生までの教室で学級担任の支援を担当します。ICT支援員は週2～3回程度、教育機器主にコンピューター関係や大型テレビの電子黒板機能の使用に関して、技術的なことや担任の授業の支援を主な業務としています。よろしくお願いいたします。